

いつ、どこに、どれくらいの雪が降るのでしょうか？

～ その③ 予告的な大雪に関する青森県気象情報～

1 はじめに

11月23日には青森地方気象台で初雪を観測しました。青森県の本格的な雪のシーズンは間もなくです。気象台では大雪が予想されるときには時間経過と大雪の可能性の高まりに応じて段階的に表1の各種情報を発表します。

今号の話題では、気象庁が発表する雪の予想のうち、「予告的な大雪に関する青森県気象情報」を紹介します。

表1 気象台が発表する雪の予想情報

	発表の時期	名称
①	大雪の2週間から1週間前	大雪に関する早期天候情報
②	大雪の5日前から当日	早期注意情報（警報級の可能性）
③	大雪の数日前から当日	予告的な大雪に関する青森県気象情報
④	大雪の前日から当日	天気分布予報（降雪量）
⑤		降雪量予想
⑥	大雪の6時間から3時間前	大雪警報・大雪注意報 降雪短時間予報（今後の雪）

2 予告的な大雪に関する青森県気象情報

ニュースなどで、「気象台では、大雪に関する気象情報を発表し、警戒を呼びかけています。」という言葉が流れることがあります。この気象情報は、気象台が警報・注意報に先立って警戒・注意を呼びかけるため、また、警報・注意報の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点等を解説するために発表する情報です。

気象情報は、警報や注意報などと同じように関係行政機関、都道府県や市町村へ伝えられ、防災活動等に利用されるほか、報道機関などを通じて地域住民の方々へ伝えられます。また、気象情報は基本的に早期注意情報（警報級の可能性）が[中]または[高]のときに発表します。どのような情報を発表するのか、実際に発表した例を元に説明します。

3 青森県での発表例（2021年1月7日）

2021年1月7日に青森県付近を発達した低気圧が通過し、翌8日は、日本付近は強い冬の気圧配置となり、7日22時10分に下北に大雪警報を発表しました。大雪や暴風雪となった日の前日（6日）朝に発表した青森県気象情報を次に示します。

暴風雪と高波及び大雪に関する青森県気象情報 第3号
 令和3年1月6日07時09分 青森地方気象台発表

【タイトル】
 標題：情報の名前（対象となる現象の種類）を最初に記述します。

（見出し）

7日から8日にかけて低気圧が急速に発達しながら日本海から千島近海へ進み、その後冬型の気圧配置が強まるため、津軽を中心に大荒れとなり、津軽の外海では大しけとなる見込みです。暴風雪や高波に警戒してください。また、青森県では大雪に注意してください。

【見出し】
 見出し：気圧配置や防災事項を簡潔に記述します。

（本文）

【気象状況】

7日は低気圧が急速に発達しながら日本海から北日本へ進み、8日朝には千島近海に達し、日本付近は冬型の気圧配置が強まる見込みです。

【気象状況】
 【気象状況】：暴風雪や大雪などをもたらす気圧配置など記述します。

【予想と防災事項】

<風と波の予想>

青森県では、海上を中心に、西よりの風が雪を伴って非常に強く吹き、津軽の外海では大しけとなる見込み。

【予想と防災事項】
 【予想と防災事項】
 各項目（雨・雪・風・波など）の予想を記述します。

7日に予想される最大風速（最大瞬間風速）

津軽	海上	25メートル（35メートル）
	陸上	18メートル（30メートル）
下北、三八上北	海上	23メートル（35メートル）
	陸上	16メートル（30メートル）

7日に予想される波の高さ

津軽の外海	8メートル
下北、三八上北の外海	3メートル
陸奥湾	2.5メートル

8日に予想される波の高さ

津軽の外海	6から8メートル
下北、三八上北の外海	2.5から3メートル

<雪の予想>
 <雪の予想>
 24時間ごとの降雪量の予想を記述します。

<雪の予想>

青森県では大雪となる所がある見込み。

7日6時から8日6時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

山沿い	40から60センチ
平地	20から40センチ

その後、8日6時から9日6時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

山沿い	20から40センチ
平地	10から20センチ

<防災事項>
警戒や注意が必要な時間帯と項目を記述します。

<防災事項>
青森県では津軽を中心に、7日から8日にかけて、暴風雪による建物への被害、猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害、高波による船舶や沿岸施設への被害に警戒してください。また、大雪による交通障害、なだれや着雪に注意してください。

【補足事項】
今後発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。
この情報は、「高波と風雪及び大雪に関する青森県気象情報」を引き継ぐものです。
次の「暴風雪と高波及び大雪に関する青森県気象情報」は、6日17時頃に発表する予定です。

【補足事項】
次回の発表時刻などを記述します。

青森県気象情報は、警戒や注意が必要な現象の名前（標題）で発表します。1月6日の気象情報では、暴風雪・高波・大雪に警戒が必要であったことから、情報の名前が「暴風雪と高波及び大雪に関する青森県気象情報」となっています。また、大雪や暴風雪などの現象の発現前に青森県気象情報を発表する場合は、朝（06時頃）と夕方（16時頃）に発表します。

青森県気象情報の内容は、(1)見出し、(2)気象状況、(3)予想と防災事項、(4)補足事項、の順番に記述します。以降では、各項目の内容を簡単に紹介します。

(1) 見出し

200文字程度で、低気圧の動向など気圧配置とどの地域で防災上の警戒や注意が必要かなどを簡潔に記述します。

(2) 気象状況

低気圧や台風の位置や動きなど気圧配置を簡潔に記述します。

(3) 予想と防災事項

雨・雪・風・波などの予想を記述します。雪の場合は、24時間に降る雪の量などの予想値を記述します。1月6日の気象情報では、1日先まではほとんど雪が降らないとの予想でしたので、1日先（6日06時から7日06時まで）までは記述せず、2日先まで（7日06時から8日06時）及び3日先まで（8日06時から9日06時）の降雪量の予想値を記述しました。

予想は、津軽・下北・三八上北のそれぞれについて記述しますが、どの地域も同じ予想値の場合は、地域分けをせずに、青森県での予想値を記述します。また、波については、外海と陸奥湾内を分けて記述します。

そのほか、防災事項として、防災上の警戒・注意の必要な項目も記述します。警報の発表が見込まれるときは「警戒」、警報を発表する可能性が高くはないが一定程度認められるとき（早期注意情報[中]のとき）は「注意・警戒」、注意報の発表が見込まれるとき（つまり、警報の発表を見込まないとき）は「注意」を呼びかけます。

(4) 補足事項

補足事項では、次回の気象情報の発表時刻などを記述します。また、この事例では、前回発表した気象情報から標題を変更した（『高波と風雪及び大雪』から『暴風雪と高波及び大雪』に変更）ことを記述しています。

4 まとめ

気象台は、大雪が予想されるときに青森県気象情報を発表し、気象情報の【予想と防災事項】の<雪の予想>の項目に、どれくらいの量の雪が降る見込みであるかを記述します。

気象庁ホームページで青森県気象情報を表示する方法は以下の[リンク先](#)で紹介しています。ニュースなどで気象台が大雪に警戒や注意を呼びかけているときは、気象台が発表した気象情報を確認し、大雪の備えの参考にさせていただきたいと思います。

気象庁ホームページで青森県気象情報を表示する方法

https://www.data.jma.go.jp/aomori/jmahp-usage/A3/JMA_HP_A3-1.html

（この原稿の作成 観測予報管理官 安藤）



国土交通省 気象庁 青森地方気象台
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号
電話017-741-7411



気象庁ホームページ: <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
青森地方気象台ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/aomori/>